

ベニカナメモチ（紅要臈）レッドロビン・バラ科ベニカナメモチ科・花期＝4～6月

レッドロビンとは雀の仲間のコマドリのことで「赤いコマドリ」の意味です、小さくて可愛い鳥です、私は昨年上高地徳澤園で朝の散歩で美しい鳴き声を聴き探しましたが見当たりませんでした。植物のレッドロビンは真っ赤な葉が印象的な常緑樹で細い枝を多く出し葉が美しいことから生垣に使われています、ベニカナメモチの**名前の由来はベニは赤い葉を指し、カナメは扇の要（中心部分）に使われる事があるので**、モチはモチノキに似ているので。カナメモチとオオカナメモチとの交配でアメリカで作られた。花の色は白、小さな花弁が丸い特徴があり可愛い花ですが見掛けることはほとんどありません、成長が早いので花期の4～6月頃に刈られてしまうからです。**花言葉＝賑わい**



ヤマブキ（山吹）バラ科ヤマブキ属・花期＝4～5月

名前の由来＝細い枝がしなやかに風に揺れる様子が「山振り」と呼ばれ、これが転訛した説、春に黄色い花が咲く様子を「山春黄」と呼んでいたのが音便化したとの説、等々、白い花のシロヤマブキがありますがこれは別種です、シロヤマブキ属と分類されています、葉の付き方が違います、ヤマブキは互生シロヤマブキは対生です。又、ヤエヤマブキはヤマブキの突然変異で出来たもので、オシベが花弁に変化したので種子が出来ません、同様の八重咲の花、バラ、ツバキ、サクラ等多数あります。有名な逸話に、室町時代の武将、太田道灌が旅の途中に雨に遭い近くの農家に蓑を借りたいと申し出たところ、現れた女性が何も告げずにヤマブキの一枝のみを差し出したので、腹を立てその場を去った、彼女はなぜヤマブキを差し出したか、それは後拾遺和歌集に収録されている「七重八重花は咲けれど、山吹の実の一つだになく、なきぞ悲しき」と云う歌の「実の」を「蓑」にかけてこの家は貧しくて貸す蓑がないと伝えようとしたのです、その後、太田道灌は自身の知識の無さを恥て和歌を学ぶようになったと言われています。**花言葉＝気品・崇高・金運（小判が山吹色から）**



ヒメウズ（姫烏頭）キンポウゲ科オダマキ属・花期＝4～5月

名前の由来＝小さい（姫）トリカブトの意、ウズ（烏頭）とはトリカブトの意味の言葉です、漢方では「天葵」と呼び全草を解熱、利尿に用います。プロトアネニモンと言う有毒物質を含んでいますので食用にはできません。日本には有史以前からあったと言われています、関東以西～九州の暖帯に分布、畑、道端、空き地、山間部に生えている多年草です、地下にある塊状地下茎を作り塊茎は楕円状で直立して、地上部の茎は枝別れて茎の先の集散花序に3～5個の花を下向きに咲かせる、花径は5mmほどで外側の5枚は花弁状になった萼で白かややピンク色になる、内側の5枚の花弁は薄い黄色で筒状になっている、葉は切れ込みが深く3出複葉に見える、3枚の葉が輪生している。新たに出来た根茎は花を咲くまでに2～3年要する。***花言葉＝不変・志操堅固・ずっと待っています。**



ママコノシリヌグイ（継子の尻拭）タデ科イヌタデ属*花期＝5～10月

別名、トゲソバ***名前の由来**＝この草の棘だらけの茎や葉から、憎い継子の尻をこの草で拭くという、創造から来ています。ちなみに韓国では「嫁の尻拭い」と呼ばれています。白色の淡い紫色の花弁が綺麗で華やかな印象、一見「ミゾソバ」と見間違えます。自分で自立して立ち上がれないので他の草木に寄りかかりながら蔓性の枝を伸ばし良く分岐、茎は赤味を帯びた部分が多く四陵（四角）陵に沿って逆向きの鋭い棘が並んでいる、柄のある三角形の葉が互生、さらに茎を托葉が囲む、葉柄と葉裏にも棘がある。花は枝先に10個位集まって咲く、花弁に見えているのは萼片で深く5裂し花被の基部が白色で先端が桃色***花言葉＝変わらぬ愛情**



ムラサキケマン（紫華鬘）ケシ科キケマン属、有毒、越年草*花期＝4～6月

名前の由来＝仏殿の内陣を美しく飾る仏具の華鬘（けまん）に花姿が似ていることから。北海道＝沖縄、台湾、中国に自生する2年生植物、全草、有毒植物でプロトピンを含み、誤って食べると吐き気や嘔吐、腹痛、下痢、呼吸麻痺、などの症状が出る。葉はヤマニンジンやハニンジンに似ているが、傷つくと悪臭がするので見分ける。花の色はピンクで先端が濃い紫色がかり、筒状で細長く直径は5mm程度です筒状花です。ラッパのようになっていて長さが1.5～2cm花はあちこち向いているのが特徴です、花弁は4枚で2枚ずつ大きさが異なります、***花言葉＝あなたの助けになる・喜び・助力**



スズメノヤリ（雀の槍）イグサ科スズメノヤリ属多年草*花期＝4～6月

名前の由来＝花茎の先に茶褐色の花穂が付く様が、昔の大名行列で奴さんが持っていた毛槍に似ていることからスズメノヤリの名が付いた。野草の名前にスズメとかヒメと付いているのは小さいと言う意味合いです。北海道～九州まで草地などに普通に生えている草丈10～20cmほどの線形の葉を持った草です、花期には花柄を10cmほど伸ばし先端に茶褐色したクス玉状の花をつける。***花言葉＝邪魔をしないで**

